

## 新正副議長決まる



議長 木下 高志



副議長 岡地 優

### 御挨拶

議員の皆様のご御推挙により、第124代埼玉県議会議長の職を拝命いたしました木下高志でございます。

誠に身に余る光栄であり、心より感謝を申し上げますとともに、歴史と伝統ある埼玉県議会の議長という、職責の重さに身が引き締まる思いであります。

さて、本年は埼玉県が誕生して150周年を迎える記念すべき節目の年であります。この歴史を振り返るに、先人たちが、時代時代で遭遇する幾多の困難を乗り越え、現在の本県を築き上げてこられた御労苦に、心からの敬意を表すところであります。

本県においても新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、重大なリスクが顕在化し、コロナ禍により傷ついた経済の再生、また、他に例を見ない早さで進行する少子高齢化など、様々な困難に直面しております。

埼玉県議会といたしましても、当面する困難に立ち向かい、感染症対策はもとより、ポストコロナに向けて、社会全体にデジタルトランスフォーメーションを波及させ、Society5.0を早期実現に導き、県民一人一人が将来に夢と希望を描けるような、郷土埼玉を築くことが使命となります。

その為には、議会がそのチェック機能を最大限に発揮することはもちろん、県民の皆様の声に耳を傾け、議員同士が活発に議論し、積極的に政策提案を行っていくことが重要であると考えています。

二元代表制の一翼を担う県議会がその役割と責務を果たすことができるよう、微力ではありますが、これまで培った経験を生かし、公正かつ円滑な議会運営に精一杯努めてまいります。

議員の皆様、そして知事をはじめとする執行部の皆様には、より一層の御支援、御協力を賜りますようお願いを申し上げます。私の就任の挨拶とさせていただきます。

### 御挨拶

このたび議員の皆様のご御推挙により、副議長という要職に就かせていただきました岡地優でございます。大変光栄でありますとともに、その重責に身の引き締まる思いでございます。

昨年、世界中で猛威を振るった新型コロナウイルス感染症は、なお依然として我々の前に脅威として立ちまわっています。ワクチンの接種体制の確立、感染防止と経済回復の両立など、県としてやるべきことは山積していますが、その一つ一つを見過ごすことなく、着実に行われるよう目を配ってまいります。

また、感染症対策を講じていくうえで、行政サービスにおけるデジタル化の遅れも浮き彫りになり、菅内閣ではデジタル庁を創設し、行政におけるデジタル化を強力に推し進めることが打ち出されました。

本年は、行政サービスを含めた社会構造が転換する重大な局面を迎え、本県の真価が問われる年になると思います。県議会といたしましても、その役割や機能をしっかりと発揮できるよう努めてまいります。

さらに今般、本県の誇る偉人の一人である渋沢栄一翁を主人公とした大河ドラマ『青天を衝け』が注目を浴びています。折しも本年は埼玉県が生誕150年を迎える年であり、本県の魅力が全国に改めて認識される一年となることを期待しています。

もとより微力でございますが、卓越した見識を持ち経験豊かな木下議長のもと、公正かつ円滑な議会運営に努め、県政の更なる発展のために全力を尽くす決意でございます。

議員の皆様並びに知事をはじめ執行部の皆様には、格別の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。副議長就任の挨拶とさせていただきます。